



NO. 274
2016.5.30

発行
国土交通省管理職ユニオン
所在地
東京都千代田区霞ヶ関2-1-2 中央合同庁舎2号館
TEL 03-3509-1138
Eメール
k-union@alpha.ocn.ne.jp
ホームページ
http://www.k-union.network/

職場から増員要求を積み上げ

一人でも多くの増員を勝ち取ろう

第19回定期全国大会

国土交通省管理職ユニオンは5月28日(土)～29日(日)に、愛知県豊橋市ホテルシーパレスリゾートにおいて第19回定期全国大会を開催しました。大会には代議員をはじめ来賓等を含め延べ119名が参加しました。

増員の政策(素案)を発表 業務所・出張所(素案)を維持・増強 「安全安心」を!

大会では、昨年の鬼怒川の水害、今年の熊本地震など激甚災害が多発するなか、定員削減により不十分な執行体制で、国民の「安全・安心」は守れるのか、職場では、連年にわたる定員削減により、肉体的にも精神的にも追い詰められ、健康や精神を害する職員が増えている、委託はもう限界で職員の増員が必要、など厳しい職場状況が報告され、管理職ユニオンとして、仕事の政策「今ならまだ間に合う、国土交通省に勤めて良かった」と思える職場環境の改善と働くルールの確立を目指して」を今大会で実践すること、今大会で出さ

れた「増員の政策」を議論し職場からの要求・運動で増員を勝ち取り国民の「安全・安心」が守れる体制としていくことの重要性が確認されました。

また、管理職ユニオンへの期待感は強まっており、各支部において組織活動を積極的に実行していく



また、管理職ユニオンへの期待感は強まっており、各支部において組織活動を積極的に実行していく

ことが、ユニオン一千名組織建設に向けての「大きな力!」となるのが改めて確認されました。

活動の総括では、管理職の処遇改善で、誰でも五歳までに六級昇格する昇給制度を確立させるため、本省及び人事院へさらなる追求を行うことが確認されました。

再任用関係では、国土地理院でフルタイムを実現させたこと、地方整備局では、ワンランクアップの四級・五級格付けを実現させたことを教訓に「希望者全員のフルタイムでの採用」の闘いを、定年延長の運動も含めて、強化することが確認されました。

運動方針では、今後一年間、重点的に取り組む要求運動として、①震災復興と防災対策強化の運動、②国民の安心・安全を守るため、道州制導入に反対する運動、③国民の期待に応える業務執行を目指して、④

第19回定期全国大会開催

職場の増員実現、職場環境の見直し、健康と家庭を守る業務執行体制確立の運動、⑤賃金・公務員制度改善との闘い、⑥六〇歳以降の働き方について、⑦共闘、共同の重視、⑧管理職員の処遇改善について、⑨人事評価制度に関する要求、⑩年金、共済、退職金に関する要求、⑪憲法と平和、民主主義を守るための、⑫原発から再生可能エネルギー政策への転換、⑬労働規制撤廃に反対する運動、⑭

労使関係改善に関する要求、⑮支部の独自要求の取り組み強化、組織の拡大・強化などの課題に対し、要求実現に向け活動することを確認しました。

以上の課題を前進させるために、私たち管理職ユニオンは、「管理職員等アンケート」、「政策」を手に職場で働く管理職員一人一人の要求や悩みを聞き、職場要求を実現させる運動を組合員、未加入者、一般職員の多くの仲間と進め、共通する産別・国民的課題と結びつけ仲間と共に課題実現を目指し、この一年間運動を展開していくことを意思統一し、全国の職場からその取り組みを実践していくことを確認しました。

神野委員長、塩谷事務局長を

2016年度中央執行委員

役職	氏名	支部
委員長	神野 隆司	九州
副委員長	森田 義一	北陸
副委員長	星野 豊	関東
副委員長	西村 政司	近畿
副委員長	上原 秀樹	近畿
副委員長	中島 最郎	地理
事務局長	塩谷 康人	中部
事務局次長	西村 正美	専従
事務局次長	鷹野 弘行	中部
事務局次長	原 昭二	近畿
執行委員	鳥屋部 勝弘	東北
執行委員	羽深 圭一	北陸
執行委員	安藤 勇	関東
執行委員	杉山 佳幸	中部
執行委員	小原 良一	近畿
執行委員	末永 敦	中国
執行委員	原 竜一	四国
執行委員	山下 正昭	九州
執行委員	木村 勲	地理
会計監査	神保 悟	関東
会計監査	岩本 悟正	中部

なお、本部専従・非専従事務局員として次の方も書記局業務
専従事務局員 上林 喜美夫 関東
非専従事務局員 中山 幸男 関東

中央メーデーの様子



東北支部

仙台メーデーの写真：雨の中、87回メーデー宮城県中央集會に1600名。左ユニオン大槻事務局次長、右東北建設支部亀田書記長（左下の写真）
青森メーデーの写真＝左ユニオン一戸特別執行委員と建設支部青森分会の仲間たち（右下の写真）



北陸支部

新潟市で開催された「総がかりメーデー」は、連合新潟加盟一部組合の「元祖 5・1 にいがたメーデー実行委員会」と、新潟県労連が中心となる「第87回メーデー県中央集會実行委員会」の共催による、初の統一メーデーとなり、1800人が参加しました。集會では参院選野党統一候補の森ゆう子さんも紹介され、市民と野党の共同を進め、安倍政権の暴走ストップ、参院選勝利の決意を固めました。

県民会館での集會後、「戦争法廃止、9条守れ、大幅賃上げ、消費増税増税反対」など元気なシュプレヒコールでデモ行進を行いました。



富山市では、労働法制の改悪や社会保障の切り捨て、破綻したアベノミクスにしがみつき、消費税増税・国会決議違反のTPP協定など国民の声を無視して数々の悪政を推し進めています。これに対して夏の参議院選挙に向けて国民運動に押されて全国で野党共闘が次々に生まれてきています。富山でも野党共闘候補者として道用えつ子さんも駆けつけていました。



富山の参加者



国民共同の力で戦争法を廃止し、野党共闘で安倍「暴走」政治をストップしようとして5月1日、第87回メーデーが全国311カ所で開催され、16万人が参加しました。ユニオン本部はユニオン関東支部国土交通労組と共に東京・代々木公園で開催中央メーデーに参加（主催者発表3万人以上）。汗ばむ陽気のなか「賃金上げろ」「許すな戦争への道」「アベはやめろ」などのプラカードを手に、都内3コースをデモ行進してアピールしました。各支部に於いても各地のメーデーに参加しました。

復「大幅賃上げで景気回復」戦争法の廃止を」
第87回メーデー

近畿支部

《大阪中央メーデー》

前委員長の河野さん（左端）、本部事務局員の西村さん（左から2番目）も含め、総勢7名が参加しました。集會後は、ユニオン旗を高々に掲げ大阪の中心をデモ行進し、その後は中華料理で団結を深めました。



《兵庫中央メーデー》

ユニオンとOBで、17名が参加しました。デモ行進後は、いつもの所でいつものように懇親会で団結を深めました。



《奈良中央メーデー》

ユニオンとOBと孫で7名が参加しました。若いときは子ども連れでしたが、孫を連れての参加の世代になりました。

